

事業名	若年末期がん患者に対する在宅支援事業
-----	--------------------

総事業費	0 千円
------	------

## ① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	健康づくりの推進
	基本事業名	各世代に応じた保健事業の実施

## ② 実施 (Do)

事業の意図	患者及びその家族の負担軽減を図る	
事業の実績と成果	取組内容	年度初めに医療機関及び在宅訪問介護事業所に事業概要説明の上で対象者の情報提供を随時してもらうこととしており、必要時にはいつでも対応できるように情報連携している。
	成果	令和5年度における対象者は「なし」であった。

## ③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	<ul style="list-style-type: none"><li>・対象者を把握する方法として、医療機関や在宅訪問事業所に頼らざるを得ない状況にあり、現状を把握する上でも定期的な確認が必要である。</li><li>・本事業に協力できるサービス事業所(島内7事業所)を県において把握し、情報提供してもらっているが、その全ての事業所は高齢者介護サービスが主であるため、本事業サービスを実施するにあたり、どこまで対応できるか不安な面がある。</li></ul>
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	<ul style="list-style-type: none"><li>・県の補助を受けての事業である。若年者のがん患者が住み慣れた場所で、自分らしく豊かに生活が送れるよう在宅生活を支援することは、がん患者及びその家族にとって、精神的・経済的な不安解消を図る観点からも重要な事業である。若年者であり介護サービスを受けられないことから、今後も引き続き本事業を実施していく予定である。</li><li>・支援が必要な方が必要な時にしっかり受けられるよう、関連事業者との連携を密に図っていきたい。</li></ul>

## ④ 改善 (Action)

2024年度方向性	関連機関と情報を密にしながら、いつでも対応できるように支援体制の充実を図る。
-----------	--